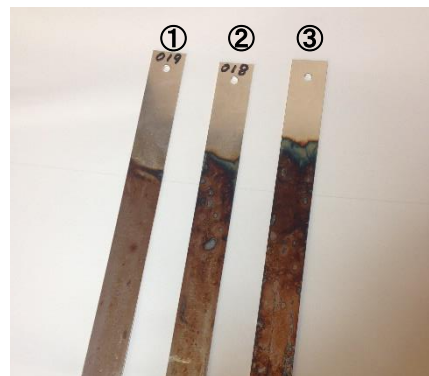


イオウチェッカー 水田での硫化水素の発生度合の試験方法



- 1枚
- 3枚セット

- ① **硫化水素が少ない(雑草も少ない)**
土の表層部分だけが黒く、全体に変色が少ない。根の位置は硫化水素が少なく根が張れ、表層部は雑草対策で還元状態で雑草が少なく、稲は旺盛な生育をしていた。
- ② **雑草と稲が同程度成長していた。**
硫化水素の発生は中程度だが、全体的に発生しており、雑草も稲も混在していた。
- ③ **雑草が繁茂していた。**
全体的に黒く変色しており、深層まで硫化水素が発生しています。稲は活着が遅れ、養分を利用できなく、その養分が雑草を育てる結果に。



秋落ちの予防対策に！使い方は簡単、土に挿すだけ！
硫化水素と反応し、黒く変色します。
本品は秋落ちの原因となる硫化水素を判定する診断ツールです。

<試験時期>

- ① 中干し直前の1週間 (土壌の硫化水素生成ポテンシャルを測定)
- ② 出穂後の1週間 (水田の秋落ちを引き起こす硫化水素を測定)

<試験方法>

- * 水田土壌に1週間突き刺す
- * 圃場の3か所程度に突き刺す。(水口・中央・水尻)

<評価>

- 小 (あまり変色が見られない)
- 中 (作土内に変色部分あり)
- 大 (作土上部に著しい変色)
- 甚大 (作土上部が著しい変色)



根腐れ 健全

変色が激しい、硫化水素の発生が強い。
 硫化水素が発生していると、根腐れが起きて、生育状況が悪くなり、収量が少なくなる。

<対策>

- ① 落水や水交換により酸素を供給する。(除草の効果が落ちる)
- ② 稲わらの腐熟分解(秋処理)
PSBT発酵粒状油粕 (2袋/10a) や「農産発酵プロバイオ・リキッド」での秋処理
- ③ 貝化石などの土壌改良資材の施用
- ④ 鉄資材「畑の鉄人」(PH3.0) (有機JAS) の活用
(安価な鉍滓施用が普及しているが、アルカリ分が高く、1%施用(鉄で0.1~0.2%)で異常還元を助長すると考えられている。)
- ⑤ 天地返しなど



詳しくは大和肥料 営農相談室まで TEL06-6499-6827